

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2018-200325(P2018-200325A)
 【公開日】平成30年12月20日(2018.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報2018-049
 【出願番号】特願2018-171915(P2018-171915)
 【国際特許分類】

G 0 1 C 21/26 (2006.01)
 G 0 8 G 1/005 (2006.01)
 B 6 1 L 25/02 (2006.01)
 G 0 9 B 29/10 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 21/26 P
 G 0 8 G 1/005
 B 6 1 L 25/02 A
 G 0 9 B 29/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月15日(2018.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であって、出発時刻が異なる第二経路を探索する経路探索手段と、

上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率を取得する混雑予測情報取得手段と、

上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率を比較する比較手段と、

上記比較手段による比較結果に基づいて、上記第一経路より上記予測混雑率が低い上記第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が低い上記第二経路が他に存在する旨の報知情報を表示する経路案内情報表示手段と、

を備えたことを特徴とする、情報処理システム。

【請求項2】

コンピュータを、

サーバにて、複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であって、出発時刻が異なる第二経路が探索され、上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率が取得され、上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率が比較された場合、比較結果を受信する経路案内情報受信手段、

上記比較結果に基づいて、上記第一経路より上記予測混雑率が低い上記第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が低い上記第二経路が他に存在する旨の報知情報を表示する経路案内情報表示手段、

として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項3】

コンピュータを、

複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であって、出発時刻が異なる第二経路を探索する経路探索手段、

上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率を取得する混雑予測情報取得手段、
上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率を比較し、比較結果に基づいて、
上記第一経路より上記予測混雑率が低い上記第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が
低い上記第二経路が他に存在する旨の報知情報を生成する比較手段、
上記報知情報を送信する経路案内情報送信手段、
として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項 4】

通信可能に接続された複数のコンピュータによって構成される情報処理システムであつて、

複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であつて、出発時刻が異なる第二経路を探索する経路探索手段と、

上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率を取得する混雑予測情報取得手段と、

上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率を比較する比較手段と、

上記比較手段による比較結果に基づいて、上記第一経路より上記予測混雑率が低い上記
第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が低い上記第二経路が他に存在する旨の報知情
報を表示する経路案内情報表示手段と、

を備えた情報処理システムを機能させるために、

上記コンピュータの少なくとも1つを上記手段の少なくとも1つとして機能させるための情報処理プログラム。

【請求項 5】

通信可能に接続された複数の情報処理装置によって、

複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であつて、出発時刻が異なる第二経路を探索する経路探索手段と、

上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率を取得する混雑予測情報取得手段と、

上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率を比較する比較手段と、

上記比較手段による比較結果に基づいて、上記第一経路より上記予測混雑率が低い上記
第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が低い上記第二経路が他に存在する旨の報知情
報を表示する経路案内情報表示手段と、

を備えた情報処理システムを構成するために、

上記手段の少なくとも1つを備えたことを特徴とする上記情報処理装置。

【請求項 6】

コンピュータを、

複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であつて、出発時刻が異なる第二経路を探索する経路探索手段、

上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率を取得する混雑予測情報取得手段、

上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率を比較する比較手段、

上記比較手段による比較結果に基づいて、上記第一経路より上記予測混雑率が低い上記
第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が低い上記第二経路が他に存在する旨の報知情
報を表示する経路案内情報表示手段、

として機能させることを特徴とする情報処理プログラム。

【請求項 7】

経路探索手段が、複数の交通機関を利用した第一経路と出発地、目的地および路線が同一であつて、出発時刻が異なる第二経路を探索するステップと、

混雑予測情報取得手段が、上記第一経路および上記第二経路の予測混雑率を取得するステップと、

比較手段が、上記第一経路および上記第二経路間の上記予測混雑率を比較するステップ
と、

経路案内情報表示手段が、上記比較手段による比較結果に基づいて、上記第一経路より
上記予測混雑率が低い上記第二経路が存在する場合、上記予測混雑率が低い上記第二経路
が他に存在する旨の報知情報を表示するステップと、

を備えることを特徴とする情報処理方法。